

製品名: RAB13 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86029**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	22.8kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB13
別名	Ras-related protein Rab-13, Cell growth-inhibiting gene 4 protein, RAB13
遺伝子 ID	5872.0
SwissProt ID	P51153
免疫原	この RAB13 抗体は、ヒト RAB13 の 1 ~ 203 個のアミノ酸からなる組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

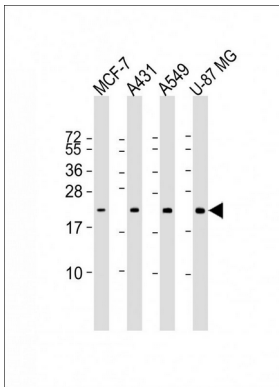
背景

低分子 GTPase Rab は、輸送小胞の形成から膜との融合に至るまで、細胞内膜輸送の重要な調節因子です。Rab は、不活性な GDP 結

合型と活性な GTP 結合型の間を循環します。活性型は、小胞の形成、移動、係留、融合に直接関与する様々な下流エフェクターを膜にリクルートすることができます。Rab はエンドサイトーシスによるリサイクリングに関与し、タイトジャンクションタンパク質 OCLN/オクルディンなどの膜貫通タンパク質の細胞膜への輸送を制御します。これにより、タイトジャンクションの組み立てと活性を制御します。さらに、PKA シグナル伝達経路を活性化し、下流エフェクター PRKACA と MICALL2 を活性化してアクチン細胞骨格を再編成することで、タイトジャンクションの組み立てを制御する可能性があります。タイトジャンクションの組み立てにおける役割を通じて、セルトリ細胞バリアの確立に役割を果たしている可能性があります。また、内皮細胞の走化性を制御することで血管新生にも関与しています。神経突起の伸展にも関与する。また、TGN からリサイクリングエンドソームへのゴルジ体後膜輸送にも関与することが示唆されている。さらに、インスリン誘導性のグルコース輸送体 GLUT4 の細胞膜への輸送にも関与しており、グルコース恒常性維持に関与している可能性がある。

研究分野

画像データ



全レーン：抗 RAB13 抗体 (1:1000 希釈)